

# 3年 世界史A 課題(5/8-14)

\*教科書P62-63 を読みながら、空欄( 1 )～( 44 )に適する語句をルーズリーフに書きなさい。ただし、文中に空欄に入る語句が出ている場合がある。

\*問1・2の解答をルーズリーフに書きなさい。

\*ただ空欄を埋めることだけに注力するのではなく、文章の意味をできるだけ把握しながら進めてください。

\*今回の範囲は、中学校で学習した範囲で、知っている言葉(ルターやザビエルなど)がいくつか出てきます。

\*1学期の世界史Aの初回の授業で提出すること。

## 宗教改革(P62)

中世末期から(1 )への腐敗の批判が続いていたが、(2 )年、ドイツの(3 )が『(4 )』を発表して(5 )の販売を批判した。人はおこないによってではなく、内面の悔い改めと信仰によってのみ救われるとルターは唱えた。彼の考えは(6 )の普及もあって各地にひろまり、賛否両論をまきおこした。こうして(7 )がはじまり、(8 )(新教)が生まれ、(9 )(旧教)と対立した。宗教改革は(10 )の内面の(11 )を重んじており、(12 )をめざす(13 )とともに、精神の世界におけるヨーロッパの近代化の出発点となった。

ルターは(14 )のみを信仰のよりどころとし、(15 )の権威を否認した。彼は教皇から(16 )され、神聖ローマ皇帝(17 )からも追放刑を受けたが、教皇や皇帝からの自立をめざす(18 )に支持された。

# ↑侯

の字に注意(にんべんの横にたて線は入りません)

ルターの改革に刺激されたドイツの(19 )も農奴制の廃止などを求めて(20 )をおこしたが、諸侯によって鎮圧された。はじめ農民に同情的だったルターは農民の反乱が急

速化するのをみて諸侯の側にたった。ドイツでは、その後、新教の諸侯と旧教の諸侯の対立が続いたが、皇帝は(21 )年の(22 )によって諸侯に新教(ルター派のみ)か旧教かを(23 )を認めた。ただし、住民には選択権はなく、諸侯が決めた宗派に従わされた。宗教改革はヨーロッパ各地にひろがり、新教と旧教のはげしい対立が長期にわたって続き、多くの(24 )がおこった。

### カルヴァンの宗教改革(P63)

(25 )のジュネーヴで宗教改革をおこしたフランス人の(26 )は、人が救われるかどうかは(27 )によるものであるという(28 )を説いた。人は自分の救いについて知ることはできないが、(29 )から与えられた世俗の(30 )にはげみ、(31 )的に規律正しく生活することによって、神の栄光をあらわすべきであるとされた。カルヴァンは、神の栄光をあらわすためならば、営利活動も認め、(32 )の結果としての(33 )も認めたことから、カルヴァン派は、ヨーロッパ各地で商工業者を中心にひろまった。

### イギリス国教会(P63)

15世紀末から王権の強まったイギリスでは、国王(34 )がみずからの離婚問題で(35 )と対立し、1534年に(36 )を発して(37 )を創設した。これは(38 )を首長とし、教皇から独立した独自の教会で新教の一派である。その内容は旧教とカルヴァン派の中間的なものとなった。

### イギリス国教会(P63)

こうした宗教改革に対抗して、カトリック側がおこした改革運動を(39 )(反宗教改革)という。(40 )で教皇の至上権とカトリックの教義の正当性を再認識するとともに、内部の改革をすすめた。また、(41 )らが設立した(42 )は、厳格な規律をもち、ヨーロッパ各地でカトリックの(43 )に成功したほか、大航海時代にラテンアメリカやアジアなど世界各地へのカトリックの布教につとめ、日本にも(44 )などの宣教師を送った。

問1 宗教改革において新たに登場したキリスト教の宗派をプロテスタント(新教)とよぶ。プロテスタントとは元々どのような意味の言葉であったか、P62のページ数の上の文章を読んで答えなさい。

問2 フランシスコ・ザビエルは、なぜ日本にやって来たのか答えなさい。